

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や指導案作成など、教職員が協力し資質向上の取り組みを行っている。 ・ICT機器を活用し、授業中だけでなく家庭でタブレット端末を活用している。 ・多様な教育的ニーズに対応するため、通級指導教室、別室教室を開設し活用している。 ・食育について、栄養教諭を活用している。 ・概ね授業に対して前向きに取り組む姿勢が伺える。不登校の減少も結果として出ているので喜ばしい。 ・コロナ禍において、自分たちに自分で考えて取り組む機会を作り、成果をあげている。 ・コロナ禍においてむずかしい中、できる範囲の取り組みは熱心に取り組んでおり、学習内容を充実させている。自発的な行動を促すよう保護者教職員ともに協力し、取り組まないにならない。特別支援教育に対して、こちらも次年度への取り組みに期待したい。 	3
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に取り組む、教師との関わりで生徒の情緒が安定して、教師に相談できる雰囲気である。 ・学校に行った時の生徒の印象などからの評価になるが、良い生活習慣が身についている生徒が多いように感じる。 ・生活習慣の確立に努力しているところは評価できる。不登校の割合が下がる気配がない。市内、全国水準に比べても高いのではないかと。不登校になる前の対策を期待する。また、子ども同士はSNSを通じ「暗黙の了解」で無視などのイジメを行っている可能性がある。解決に向け、教職員の取り組みに期待すると共に保護者の協力は不可欠。 ・別室利用が時代と共に変化し、以前のような後ろ向きな姿ではなく、そこで前向きになれることが大きい。誰も取り残さないことを願う。 	3
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活気に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、地域との交流が制限される中で、工夫をこらした活動等で、地域連携を図っている。 ・SC,SSWや関係機関との連携強化が図られている。 ・学校の取組には頭が下がる思いだ。おそらく多忙を極めていると推測できる。余裕のある人間の方が良い仕事ができるので、足りない部分を保護者、地域が補ったり、過度の要求(特に保護者側)をしない理解が必要。 ・欠席者への電話連絡、長期欠席者への家庭訪問など積極的に保護者と良好な関係をとっている。 ・地域で育てる意識を地域の間ももっと持ち、学校との連携を密にすべき。 	3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や通学路の危険な場所の把握等、具体的な取り組みのなかから、防災意識の向上を図っている。 ・いつ災害が起きても適切な対応がとれるようにしている。 ・防災教育については、内容を充実され意識が高まっている。 ・自転車安全教育を実施している。 ・生徒たちの下校のときのマナーに対する指導を地域と協力してはどうか。 ・先生が夜遅くまで仕事をしていて、健康面が心配である。 	3
<p>■教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エナジードを取り入れて、キャリア教育推進を図り、自分たちで解決する方法を話し合いの中から考えていくことで、コミュニケーション力や発想力、発言力が身についた。 ・評価のための資料を収集、チェックする労力が大変になったようなので、先生方の負担が少しでも少なくなって、本当に必要なことに時間をかけることができる状況になることを望んでいる。 	3
<p>■研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善3つの視点を、研修を行い、全教職員が取り組むことで、研究推進委員会を中心に教職員が指導案を作成し共有でき、授業改善に努めた。 ・生徒自ら考え育つキャリア教育活動を学習の中心に据え、3年間を見通した教材を導入し取り組んでおり、今後の展開に期待ができる。生徒の「調べる力」「想像力」の低下に繋がらないよう工夫して研究を続けてほしい。 ・道徳の授業の公開授業を行っている。 	3
<p>■</p>	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	<p>評価Ⅳ</p>
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	A
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B

